

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和5年7月12日（水）8：40～10：25

場所：島根県立益田養護学校 美術室

指導者：埋蔵文化財調査センター職員 大庭

美術担当：田原、島田、吉田

1. 単元名：金属鏡作り体験と益田市（島根県）の歴史

2. ねらい・銅鏡作り体験を通じて、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

- ・身近な横田町にも古代から続く歴史があることを知り、歴史学習に対する学習意欲を高めるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

3. 展開

時刻	児童の学習内容（指導者）	教師の支援等	準備物
8:40	はじめの会（吉田） ・講師紹介 ・オリエンテーション	・講師の方の紹介をする ・学習内容やねらいを説明する。	【学校】 ・電子黒板 ・延長コード ・iPad ・パソコン
8:45	鏡の説明を受け鏡の制作をする。 （講師） 鏡製作の続きをする。（講師）	・活動に関心がもてるように声をかける。 ・取りかかりにくい生徒は、ATが近くでやってみせるなどして活動へ誘う。	【埋蔵センター】 ・金属鏡製作キット ・パワポデータ資料 （事前に送っていただく） ・活動説明資料 ・遺物（益田市） （横田町出土品または） ・鏡（さわれるもの） ・ゴム手袋
9:50	休憩（5分）		
9:55	地域の歴史を知る。（講師） 益田市の所有する三角縁神獣鏡を観察する。（講師）	・関心をもって益田市のことを聞いたり、出土品を観察したりできるように声をかける。 ・ポイントを絞って視覚的な支援も入れながら話す。	
10:15	おわりの会（吉田） ・アンケート記入 ・質問、感想 ・講師の先生のお話	・書きに困難のある生徒は、聞き取りをしてATが記入する。	
10:25	・生徒代表あいさつ		

4. その他

*教室へ入りにくい生徒がいた場合は、別室で美術室とリモートでつなぎ授業を受ける。